

嬉し♪ 収穫祭



木島児童館で、11月16日に収穫祭が行われました。詳しくは本文をご覧ください。



自然の恵みと地域のつながりに感謝

11月16日(月)、木島児童館で、今年採れた野菜などをを使った料理で「収穫祭」を行いました。
来賓として来てくださったのは、畑の草取りや野菜



(左から) 小野沢さん、中沢さん、畔上会長

谷美代子さん、丸山登代さん、更に主任児童委員の伊東ケサ子さんです。
当日はiネットの生放送があり(右下の写真)、子どもたちは最初、多少緊張した様子でしたが、

次第に慣れてきて皆で楽しく食事をしました(左の写真)。
木島児童館では、休耕田をお借りして、毎年野菜を



「自分で作った野菜はおいしい」

作り、収穫しています。5月にじゃが芋、二十日大根、藍、里芋を植え、6月頃から収穫し始め、おやつに食べたりしています。
苗などは、近所の方から頂いたりしています。
ここには、畑づくりの大



「たくさん野菜がとれて良かった」

児童クラブ登録申請開始

飯山市児童クラブと飯山市児童センター・児童館内の児童クラブで、来年度の登録児童の募集を始めます。
登録の条件は、

- ①小学校3年生までの児童で放課後に適切な保護の手が無い児童
- ②特に登録が必要と認められた児童

です。各児童センター等に申請書がありますので、そこに必要事項をご記入の上、ご提出ください。
飯山市社協で運営している児童センター等は、以下のとおりです。

- ・上町児童センター(飯山小管内)
- ・城山児童館(飯山小管内)
- ・戸狩児童センター(戸狩小管内)
- ・木島児童館(木島小管内)
- ・泉台児童クラブ(泉台小管内)
- ・秋津児童クラブ(秋津小管内)
- ・瑞穂児童クラブ(東小管内)

なお、児童センターと児童館は、登録しなくてもご利用いただけます。

〓お問合せ〓

飯山市社会福祉協議会

☎ 62 2840

※登録申請の締切りは、2月15日(月)です

子育て緊急サポートセンターの一日

ジリリリリ...

ある寒い日の朝、社協の電話が鳴った。職員が出ると、女性の声だった。
「あの、すみませんが、私がインフルエンザにかかってしまいました...」
『小学2年生の子どもの預かって欲しい』という旨の、お母さんからの電話である。
担当者に電話を回す。担当者は、要件を尋ねる。子どもの年齢、保護者の様子、送迎の有無・帰りの時間、等々。
電話を切った次の瞬間、担当者は、どこで保育をするのが適当か考える。その頭の中には次のような考えが浮んだ。
○福祉センターで保育するか。もしも退屈するようであれば、図書館に行つて図書館利用の仕方を教えよう。ついでに絵本を借りてくるのも良い。
○ゆきんこ園で保育するか。そうすれば、他の子どもたちとの交流ができ、お互いにとって良いことだ。

そこで、「子育て緊急サポートセンター」に連絡を取る。サポートは子育て大ベテランの主任児童委員Mさんだ。
次に、Mさんと相談し、保育場所を決める。今回は、インフルエンザ潜伏の可能性を考慮し、福祉センターで保育することになった。
その後しばらくして、お母さんが子どもを連れてくる。小学2年生の可愛らしい女の子だ。
入つてくると、彼女は、「こんにちは。よろしくおねがいします。」
と、低学年とは思えない丁寧なあいさつをした。
3階の和室でAさんと遊ぶ女の子。ここにおもちゃは用意してあるが、自前のおもちゃを用意してきているあたりはさすがと言わざるをえない。
しばらくすると、「眠い」と言い出した。



サポートの様子(写真と本文は関係ありません)

用意してある毛布をかけ、スヤスヤと眠る。その後、お弁当を食べ、昼過ぎにお迎えが来た。「もつと遊んでいきたくて!!」と涙る彼女を引っ張っていく彼女のお母さん。我々も、名残惜しさを隠せずにいた。
次はどんな子が来るのだろうか。たとえばどんな子が来たとしても、担当者として飯山市社協は、常に万全の体制である。
お問合せ・お申込み
62 2840
担当 大平

※インフルエンザ等の症状がある場合は、保育をお断りすることがあります。